

総合計画審議会 意見一覧

No	項目	P	委員	意見内容	市の考え・対応案	答申への記載
1	総合計画 基本構想 3 人口の推移	3	田中 委員	「将来の人口減少の抑制を目指していきます。」 → 「将来の人口減少の緩和を目指していきます。」	「人口減少の緩和」は減少を抑える方と容認する意味の両方の解釈ができてしまうため、原文のままとしたと考えます。	
2	後期基本計画 1 (2) 地域福祉の推進	23	福島 委員	「行政の取組」①「市民活動・地域活動の周知や協力を 行う。」 → 「～周知や支援を積極的に行う。」	「行政の取組」は実施することを前提としておりますので、原文のままとしたと考えます。	
3	後期基本計画 1 (2) 地域福祉の推進	23	福島 委員	「行政の取組」④「福祉に関する様々な属性の事業者 や地域活動主体が垣根を越えて集まり、直接市民との 交流を図れる「福祉まつり」について、主催の社会福祉 協議会と連携し交流の場の提供を支援する。」 → 「地域共生社会の形成を推進するため、社会福祉協議 会と緊密に連携して、市民生活を支え市民の幸せと喜 びを拡充する取組や活動を支援する。」	「福祉まつり」は具体的なイベントの名称なので表現 を削除します。地域福祉への理解を深めるため、市民 が福祉に関係する事業者や地域活動を実施する団体と 交流する場が必要と認識しておりますので、下記のよ うに修正し答申案としたいと考えます。 【事務局修正案】④地域共生社会の形成を推進するた め、社会福祉協議会と連携し、市民と福祉に関する 様々な事業者や地域活動主体の交流を図れる場の提供 を支援する。	○
4	後期基本計画 1 (3) 生涯を通じた健康づく り	24	田中 委員	健康指標は県下でも低い方ではあるが、成果が出るま で長期的な見通しが必要。引き続き取り組んでいただ ければと思う。	今後の施策実施の参考とさせていただきます。 【関連：後期基本計画 1 (3) 生涯を通じた健康づくり 「協働の取組」■市民・地域活動等・事業者に対する 支援①自分の健康は自分がつくることを意識し、生活 習慣を整えることの重要性について、健康教室の開催 や地域に出向いた出前講座などにおいて市民へ広め る。】	
5	後期基本計画 1 (4) 障がい者福祉の充実	27	岩瀬 委員	「行政の取組」② 福祉まつりについて。来年度から 負担金を求められている。計画で発展させるとあるの で、市と社協で打ち合わせをして、予算的なものと か、これを発展させるようにしていただきたい。（要 望）	今後の施策実施の参考とさせていただきます。	

総合計画審議会 意見一覧

No	項目	P	委員	意見内容	市の考え・対応案	答申への記載
6	後期基本計画 1 (4) 障がい者福祉の充実	27	福島委員	<p>「行政の取組」■市民・地域活動等・事業者に対する支援</p> <p>① 関係機関と連携し就労機会を確保する。</p> <p>② 障がいのある人となない人の交流の場として既存の「福祉まつり」を、主催の社会福祉協議会と連携し発展させることをはじめ、交流の場の創出を検討していく。</p> <p>③ 障がいを理由とする差別や社会的障壁がなくなるための意識の醸成を図る。</p> <p>↓</p> <p>① 障がいを理由とする差別や社会的障壁がなくなるための意識の醸成を図る。</p> <p>② 関係機関と連携し、障がい者の就労・社会参加機会を確保・支援する。</p> <p>③ 障がい者の方々の権利や尊厳を守るため、社会福祉協議会と連携し、その人らしい暮らしや活動を支援する。</p>	<p>「障がいへの理解や社会的障壁がなくなるための意識醸成として、障がいのある人となない人が交流する場が必要ではないか」との市民職員合同会議でのご意見で「福祉まつり」を加えた経緯がありますが、「福祉まつり」の表記は具体的なため削除します。「交流」は必要と考えますので下記のように修正し、順番は委員のご提案のとおりとし、答申案としたいと考えます。</p> <p>【事務局修正案】</p> <p>①障がいを理由とする差別や社会的障壁がなくなるための意識の醸成を図る。</p> <p>②関係機関と連携し、障がい者の就労・社会参加機会を確保・支援する。</p> <p>③社会福祉協議会と連携し、障がいのある人となない人の交流や活動が生まれる仕組みづくりを支援する。</p>	○
7	後期基本計画 1 (4) 障がい者福祉の充実	27	岩瀬委員	<p>主な事業「⑧障がいのある人への合理的配慮に関する理解促進」があるが、まだまだ障がい者に対する理解が浸透していないので、このあたりを強くお願いしたい。</p>	<p>今後の施策実施の参考とさせていただきます。</p> <p>【関連：後期基本計画 1 (4) 障がい者福祉の充実「行政の取組」■市民・地域活動等・事業者に対する支援 ③障がいを理由とする差別や社会的障壁がなくなるための意識の醸成を図る。】</p>	
8	後期基本計画 1 (5) 高齢者福祉の充実	28	小泉会長	<p>直接福祉の関連ではないが、全国、県内でも60～70歳代の女性の新規創業支援が最近目立つ。高齢者の方の豊かな経験や技術を生かしてというのはこれで結構だが、子育てや介護がひと段落した60～70歳代の女性の新規創業する方が増えてきている。</p>	<p>今後の施策実施の参考とさせていただきます。</p> <p>【関連：後期基本計画 2 (3) 起業・創業の支援と雇用の創出「行政の取組」■市民・地域活動等・事業者に対する支援②高齢者や障がい者、外国人など、働く意欲のある人が活躍でき、多様な働き方ができる労働環境づくりを推進する。】</p>	

総合計画審議会 意見一覧

No	項目	P	委員	意見内容	市の考え・対応案	答申への記載
9	後期基本計画 1 (6) 資源環境と廃棄物の減量及び適正処理の推進	31	福島委員	ごみの排出量についての指標がかなり高い目標という印象を受けた。	生活系ごみの中から紙資源を取り出せば生活系ごみが減り、ミックスペーパーの回収量が増えるという考え方です。目標は高く設定していますが、紙ごみを資源化することで循環型社会を構築していこうという内容です。	
10	後期基本計画 1 (9) ジェンダー平等な社会の実現	37	井戸委員	男女共同参画の視点から指標の目標値のように、審議会委員や町内会役員、市の管理職への登用など、目標にあえて書くことで、ようやく少しずつ進んでいく。この目標でやっていただければと思う。	今後の施策実施の参考とさせていただきます。 【関連：後期基本計画 1 (9) ジェンダー平等な社会の実現「主な事業」③男女共同参画の実現のため、審議会等委員への女性登用や、市の女性職員の管理職への登用促進】	
11	後期基本計画1 (9) ジェンダー平等な社会の実現	37	森田委員	上場企業は役員の中に一定数の女性がいないと株価が下がるくらいの時代。熱海で一番大きい会社にも女性活用をしていただきたい。	今後の施策実施の参考とさせていただきます。 【関連：後期基本計画 1 (9) ジェンダー平等な社会の実現「主な事業」③男女共同参画の実現のため、審議会等委員への女性登用や、市の女性職員の管理職への登用促進】	
12	後期基本計画 2 (1) 観光の振興	43	福島委員	指標「市民による推奨度」。市民が何に誰に対して推奨するのが30%か。30%が高いか低いかわかりにくい。観光客の満足度の方がいいのではないか。	推奨度は、市民が熱海を居住地、滞在地として他者に勧めたいと思う割合としています。市民アンケートでの観光施策に対する市民満足度は29.8%と非常に低いので、推奨度はさらに1歩進めて、満足度を高めて推奨するところを目指し30%としました。観光基本計画では観光客が他の観光客にお勧めする推奨度も設定しています(50%)。	
13	後期基本計画2 (1) 観光の振興	43	中島委員	熱海は観光協会が6つあり、各地区が特徴をもって活動している。そのとりまとめがDMOになる。住んでよしの熱海になるよう、熱海に来て、なおかつ移住していただく施策も進めていきたいと考えている。(要望)	今後の施策実施の参考とさせていただきます。 【関連：後期基本計画 2 (1) 観光の振興「主な事業」①熱海型DMO(熱海観光局)との連携による新たな観光振興と地域経済活性化のための施策の実施】	

総合計画審議会 意見一覧

No	項目	P	委員	意見内容	市の考え・対応案	答申への記載
14	後期基本計画 2 (1) 観光の振興	43	森田 委員	少子高齢化、団塊の世代が75歳以上になり、インバウンドを積極的に取らないと360万人は出てこないかと。ただこれからホテルが800室できて1日2,000人のキャパシティが増える。宿泊客数360万人は行くと思うが、業界としては従業員の取り合いが厳しくなる。	今後の施策実施の参考とさせていただきます。 【関連：後期基本計画 2 (1) 観光の振興「行政の取組」■市民・地域活動等・事業者に対する支援②関係機関と調整を図り、人材不足対策を実施する。】	
15	後期基本計画 2 (1) 観光の振興	43	森田 委員	新規で熱海に進出してくるのは東京資本、上場企業。いわゆる老舗が生き残れるかが一番心配なところ。住んでいる方が熱海に誇りを持ち、観光客が熱海を好きになって二地域居住からでもいいからはじめて、最終的に住んでもらって少しでも人口が増えるのが理想的。	今後の施策実施の参考とさせていただきます。 【関連：2 (2) 商工業の振興「行政の取組」■市民・地域活動等・事業者に対する支援④ICT化推進など中小企業などの経営の革新及び経営基盤の強化を支援する。】	
16	後期基本計画 2 (2) 商工業の振興	44	森田 委員	市内の個店、中小零細企業の応援、事業継承の問題を商工会議所としても積極的に考えていく。	今後の施策実施の参考とさせていただきます。 【関連：後期基本計画 2 (2) 商工業の振興「行政の取組」■主体的に実施する取組③事業継承や企業間連携を推進する。】	
17	後期基本計画 2 (2) 商工業の振興	44	野中 委員	事業継承の相談はかなり増えている。地元企業を残すことに取り組んでいきたい。	今後の施策実施の参考とさせていただきます。 【関連：後期基本計画 2 (2) 商工業の振興「行政の取組」■主体的に実施する取組③事業継承や企業間連携を推進する。】	
18	後期基本計画 2 (3) 企業・創業の支援と雇用の創出	46	大館 委員	市内のリノベーションは居住利用ではなく店舗型がほとんどで、営業か賃貸で回すことになってくる。ホテル等の従業員数を確保できたとして、住まいの提供が熱海は不向き。従業員を増やせるキャパができて住んでもらえる環境がつかれるかが今後は大きい。	今後の施策実施の参考とさせていただきます。 【関連：後期基本計画 3 (2) 住環境の整備「主な事業」②多様な住まい方ができるまちの実現に向けた、ニーズや時代に合わせた住宅の更新や住宅ストックの活用促進。】	

総合計画審議会 意見一覧

No	項目	P	委員	意見内容	市の考え・対応案	答申への記載
19	後期基本計画 2 (3) 企業・創業の支援と雇用の創出	46	森田委員	市内の従業員は宿泊施設が多いが非常に人気のない職種。給料、福利厚生を含め他業種に負けている。業界としても相当努力して働きたくなる職場を作っていく必要がある。	今後の施策実施の参考とさせていただきます。 【関連：後期基本計画 2 (3) 起業・創業の支援と雇用の創出「協働の取組」■事業者②働きやすい職場環境づくりや福利厚生の充実を図る。 「行政の取組」■主体的に実施する取組④事業者の人材確保に向けた福利厚生を支援する。】	
20	後期基本計画 3 (1) 地域特性に応じた空間づくり	52	谷委員	街の清掃活動や花火大会後のゴミ拾いなど今後も青年会議所としてやっていきたい。こういった取組があれば青年会議所としてもできる限り協力できる体制でいようと思う。	今後の施策実施の参考とさせていただきます。 【関連：後期基本計画 3 (1) 地域特性に応じた空間づくり「協働の取組」■地域活動等①地域の清掃活動や緑化活動を企画・実行し、地域住民の参加を促す。】	
21	後期基本計画 3 (1) 地域特性に応じた空間づくり	52	佐野委員	クルーズ船の寄港について、清水港は年間108回寄港するが、熱海はクルーズ船の寄港が定着しない。歴史、文化、温泉、芸妓文化もあるので、半日熱海で遊んでいただくには十分なほど魅力があるということがまだ少しでてこないかと思う。	今後の施策実施の参考とさせていただきます。 【関連：後期基本計画 3 (1) 地域特性に応じた空間づくり「主な事業」④渚第4工区、観光港遊休地などの熱海港湾の整備・利活用の推進。】	
22	後期基本計画 3 (1) 地域特性に応じた空間づくり	52	佐野委員	駅から海岸線の動線について、全天候型のエスカレーターを作る等、以前から話はあるが、画期的な動線を作らないと難しいかと思う。	今後の施策実施の参考とさせていただきます。 【関連：後期基本計画 3 (1) 地域特性に応じた空間づくり「主な事業」②回遊性向上に向けた交通インフラの整備】	
23	後期基本計画 3 (3) 道路・河川・海岸の整備	52	佐野委員	目標値。第4工区の整備進捗率。R12に100%では遅い。もう2年くらい前倒しにさせていただく方がより活性化されるのではないか。	県事業で埋立工事を実施し、その後、上部の修景工は市で実施する予定となっております。	

総合計画審議会 意見一覧

No	項目	P	委員	意見内容	市の考え・対応案	答申への記載
24	後期基本計画 3 (4) 公園・緑地の整備	58	中島委員	親水公園の利用頻度が非常に高いが消火栓等の設備がない、またできれば路盤の強化をお願いしたい。キッチンカー等を置いてのイベント等ができないので、県と協力して強度をもう少し確保できるようにお願いできればと思う。(要望)	今後の施策実施の参考とさせていただきます。 【関連：後期基本計画 3 (4) 公園・緑地の整備「行政の取組」■市民・地域活動等・事業者に対する支援①それぞれの公園の特性を生かし、賑わいのあるイベントや憩いの場として活用を支援する。】	
25	後期基本計画 3 (6) 市営温泉の安定供給	62	野中委員	今後ホテルが800室できるなか、温泉も必要になると思うが、足りるのか。宿泊関係で温泉がなくて引けなかったケースがあったが、場所によって引ける、引けないがあるのか。	市営温泉は泉と熱海中心部、南熱海。伊豆山にはありません。宿泊施設で温泉がある所は影響ありません。温泉の使用量が減っているのは主に個人利用の部分で、例えば、別荘等を相続した方の来訪頻度が下がり、維持管理費用がかかるため廃止してしまうことが使用件数、使用量が大きく減少している主な理由です。	

総合計画審議会 意見一覧

No	項目	P	委員	意見内容	市の考え・対応案	答申への記載
26	後期基本計画 4 (1) 子ども・子育て支援の推進	68	西島委員	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化が進み、保育園・幼稚園の閉園、休園が発生している。 ・インターネットの普及などにより、直接的な人との関わりが薄れてきていると感じる。 ・子育てについて、昔の価値観でのアドバイスは全く役に立たなかったり、よかれと思ってやったことがありがた迷惑だったり、世代の価値観の違いを痛感することがある。 ・熱海は出産する病院がなく不安だという声を聞く。小児科も少なく診察時間も早く終わってしまう。 ・若い世代の住むところがない。 ・父親にも育休を取って欲しい。子どもの幸福感は母親の笑顔の長さで決まるという話がある。子育てに関わる人の役割は母親の笑顔を増やすこと、それが子供への最高の財産になる。 ・移住してきた母親からは、熱海は旅行に行かなくても十分楽しめる。熱海の温泉が不妊治療にとっても役に立ったという話も聞いた。 ・保育料の無償化は保護者から喜ばれている。 ・少子化で子どもが少ないことだけが心配されているが、少子化だからこそ子ども一人一人が大切にされる時代なのではないかと思う。 	<p>今後の施策実施の参考とさせていただきます。</p> <p>【関連：後期基本計画 4 (1) 子ども・子育て支援の推進「主な事業」①妊娠から子育てまで切れ目のない一体的な支援②教育・保育の需要の変化や少子化などに対応した望ましい教育・保育環境の整備 後期基本計画 1 (9) ジェンダー平等な社会の実現「行政の取組」■主体的に実施する取組②ワークライフバランスへの理解を促すため広報啓発を実施する。 後期基本計画 3 (2) 住環境の整備「主な事業」②多様な住まい方ができるまちの実現に向けた、ニーズや時代に合わせた住宅の更新や住宅ストックの活用促進。】</p>	
27	後期基本計画 4 (2) 熱海らしい特色ある教育の推進	70	中島委員	<p>熱海市の基幹産業は観光であること。 人口の減少と少子高齢化の現実を受け入れること。 外国人の労働力が不可欠であること。 外国人の子供たちの教育環境を整えること。 これらを受け入れたうえで、熱海らしい学校の在り方（専門性を持った小中高一貫校）を考える。 例) 観光を軸にした一貫校にする場合、熱海は街全体が実習のできる環境にある。</p>	<p>今後の施策実施の参考とさせていただきます。</p> <p>【関連：4 (2) 熱海らしい特色ある教育の推進「行政の取組」■市民・地域活動等・事業者に対する支援②地域内の企業、団体、学校などが連携・協働し、子どもたちが安心して育つことができる環境を構築する。】</p>	

総合計画審議会 意見一覧

No	項目	P	委員	意見内容	市の考え・対応案	答申への記載
28	後期基本計画 4 (2) 熱海らしい特色ある教育の推進	70	山田委員 代理 坂上氏	外国籍の子どもが増えてきていることに対して、学校の方でも工夫して対応している。きめ細やかなことを中心にやっていくことはいいことだと思う。	今後の施策実施の参考とさせていただきます。 【関連：4 (2) 熱海らしい特色ある教育の推進「行政の取組」■主体的に実施する取組③特別な支援を必要とする子どもに対し、庁内各部署と連携し、相談体制や支援の充実を図る。】	
29	後期基本計画 4 (2) 熱海らしい特色ある教育の推進	70	出口委員	不登校児童生徒が年々増えているが、中学校卒業後の様子は気になる。 コロナ禍以降、子ども達は我慢することが多いと聞いたことがある。子どもの声を聞くような場所、子どもだけの会議を開いて、ざっくばらんに話せる場所があると、子どもの意見が聞けて、いろいろな案も出るのではないか。	今後の施策実施の参考とさせていただきます。 【関連：4 (1) 子ども・子育て支援の推進「行政の取組」■主体的に実施する取組②子どもが安全な家庭環境において安心して暮らせるよう、こども家庭センターにおいてすべての妊産婦、子育て世帯、子どもに対し、効果的で切れ目のない一体的支援を実施する。】	
30	後期基本計画 4 (2) 熱海らしい特色ある教育の推進	70	井戸委員	以前と比べて熱海の子どもの学力がすごく下がっていると感じる。原因の1つはオンラインで見ただけの授業内容が増えて、明らかに書くことが減っていると思う。今後更に下がってしまうのではないかという懸念を抱いているので何か大きな舵取りをお願いしたい。	今後の施策実施の参考とさせていただきます。 【関連：4 (2) 熱海らしい特色ある教育の推進「行政の取組」■主体的に実施する取組④全国学力・学習状況調査の分析と改善を行い、教職員の指導力の向上と児童生徒の学力の定着・向上を図る。】	
31	後期基本計画 4 (3) 文化の振興	72	土屋委員	無形文化財について、お祭りが近づくと鹿島踊りなどの練習が始まるが、太鼓や笛の音がうるさいという声もあると聞くので住民の理解が深まってもらえると思う。	今後の施策実施の参考とさせていただきます。 【関連：後期基本計画 4 (3) 文化の振興「協働の取組」■市民②文化・文化財が過去から未来へ伝える「共有財産」であることを理解し、その保存について関心を持つ。】	

総合計画審議会 意見一覧

No	項目	P	委員	意見内容	市の考え・対応案	答申への記載
32	後期基本計画 4 (3) 文化の振興	72	小泉 会長	史跡のソフト的な価値、それがどこでどう使われているのかというソフト面の情報を出した方がよい。その手の専門家から情報提供を受けて載せるだけでも、違う観点での史跡の意味合いが出てくると思う。	今後の施策実施の参考とさせていただきます。 【関連：後期基本計画 4 (3) 文化の振興「行政の取組」■主体的に実施する取組①若者や外国人観光客などへ文化施設や温泉などの歴史的背景も含めプッシュ型の情報発信をし、本市に訪れる目的としての価値を高める。】	
33	後期基本計画 4 (3) 文化の振興	72	原 委員	重要な文化施設があっても地元の住民はよく知らない。市民に知ってもらう取組も必要。それがひいては他の方々へのPRにも繋がってくるのではないか。	今後の施策実施の参考とさせていただきます。 【関連：後期基本計画 4 (3) 文化の振興「行政の取組」■市民・地域活動等・事業者に対する支援①青少年や就労世代が地域の文化・文化財に親しむ機会を確保するとともに、文化施設でのボランティアガイドなどの育成を支援する。】	
34	後期基本計画 4 (4) 生涯学習の充実	75	福島 委員	新図書館をつくるという構想を位置づけてしまってもよいのか。構想自体を策定するとか、図書館をつくるべきか市民の議論を深めるとか、そのような表現がよいのではないか。	元々ある構想が古いため、図書館計画を策定する前段階として構想をしっかりと作っておく必要があるという認識で記載しています。	
35	後期基本計画 4 (5) スポーツの推進	77	福島 委員	指標「する・みる・ささえる」いずれかの形でスポーツに親しんでいる市民の割合の目標値90.2%。他の指標は切りがよい数値になっているが、コンマ2%にする必要はあるのか。	静岡県スポーツ推進計画で掲げる目標値を設定しています。	
36	後期基本計画 5 (2) 防災体制と地域防災力の向上	82	佐野 委員	現状の課題の「異常気象」という言葉はあまり使わなくて、業界の中でも「気候変動」に置き換えている。	委員意見のとおり修正し、答申案としたいと考えます。	○
37	後期基本計画 5 (3) 安全安心な暮らしの充実	85	小泉 会長	行政の取組■市民・地域活動等・事業者に対する支援①「多様化する犯罪に備え、市民などの防犯意識の高揚を図る」とあるが、最近は企業も狙われている。商工会議所と連携する中で情報提供をしていただくとうい。	今後の施策実施の参考とさせていただきます。 【関連：後期基本計画 5 (3) 安全・安心な暮らしの充実「行政の取組」■主体的に実施する取組②不審者や特殊詐欺などの犯罪防止や青少年などによる薬物使用の危険性の周知を図るため、関係機関との情報共有や市民に対する情報提供を行う。】	

総合計画審議会 意見一覧

No	項目	P	委員	意見内容	市の考え・対応案	答申への記載
38	後期基本計画 6 持続可能な行財政運営	89	福島委員	「健全な財政運営の維持」というのが行政の取組にあるので、健全化指数とか、いろいろ財政的な運営状況を測る指標を入れてはどうか。	財政運営の状況を測る指標として、財政健全化判断比率4指標等が考えられますが、現状では国の定める早期健全化基準を下回っており、目標値として掲げるには適当ではないと考え、記載しておりません。	
39	全般		石井副会長	社会情勢の高齢化と少子化の問題が熱海市のいろいろな計画にも波が入っていると感じる。そういうなかで長期的に見越してやることと、緊急に取り組まなければならないことがいろいろある。	今後の施策実施の参考とさせていただきます。	
40	後期基本計画、総合戦略		小泉会長	指標（後期基本計画） 評価指標（総合戦略） PDCAのCは「評価」ではなく「点検（もしくは検証）」。「評価」に意味があるのではなく、点検して何をどうするか検討することに意味がある。「評価指標」という言葉は指標がそのまま評価であるような誤解を招いてしまうが、点検指標のようなものである。KPIも途中断簡で点検してやり方を変えていくもの。KPIを達成したかどうかではない。	今後の施策実施の参考とさせていただきます。	
41	後期基本計画、総合戦略		小泉会長	人口が増える要因として住まいの供給がある。他の自治体では、低所得者向けではなく、子育て世帯向けの3LDKの公営住宅を供給している例もある。	今後の施策実施の参考とさせていただきます。 【関連：後期基本計画 3 (2) 住環境の整備「主な事業」②多様な住まい方ができるまちの実現に向けた、ニーズや時代に合わせた住宅の更新や住宅ストックの活用促進】	
42	人口ビジョン 2 (2) 関係人口との関わり	5	田中委員	「(2) 関係人口との関わり」→「(2) 関係人口の創出・拡大による地域経済社会の維持」	委員意見のとおり修正し、答申案としたいと考えます。	○

総合計画審議会 意見一覧

No	項目	P	委員	意見内容	市の考え・対応案	答申への記載
43	人口ビジョン 1 (1) ①総人口の推移	6	田中 委員	「～老年人口は約2.8倍に増加しています。」→「～老年人口は184.9%増加しています。」	委員意見のとおり修正し、答申案としたいと考えます。	○
44	人口ビジョン 1 (2) ③母の年齢別出生数の推移	10	田中 委員	出生数の減少と出産女性の減少(年齢区分別の傾向)が書かれている。p.7の人口ピラミッドで20年おきの階級別人口の推移が示されており、この図から2020年に25～34歳の女性(996人)が20年前(5～14歳)の人数(1,535人)を読み取ったところ539人減少している。このことから出産控えだけでなく流出要因があると思われる。p.14-18ページの2023年の社会増減では、20-29歳女性の転入が331件、転出が335件と、ほぼ同数になっている。	委員のご意見の女性の流出については、前段の「②15～49歳女性人口の推移」で減少していることを示しております。(なお、2023年における20代女性の社会移動はほぼ均衡していますが、2012-2023年でみると平均▲54人となっており減少傾向にあります。)「③母の年齢別出生数の推移」では、直近7年の母の年齢別の出生数の推移を表したもので、次ページの1,000人あたりの出生割合と合わせて、女性が出産する年齢が20歳代で減り、30歳代後半で増えている傾向を示しています。以上のことから、「③母の年齢別出生数の推移」の記載は原文のままとしたいと考えます。	
45	人口ビジョン	29	福島 委員	シナリオ4の合計特殊出生率1.96。かなり高めのシナリオは意味があるか？	市民アンケートでの市民の希望する出生率をシナリオの1つとして設定しました。目標ではなく、政策の方向や程度を検討するために、いくつかのパターンを提示しているものです。	
46	人口ビジョン 2 (3) ③2) 地域間の増減差の低減化	34	田中 委員	地域間に増減差があることについてエリアごとに施策の方向性が異なるのであれば、現状として示すのはいかがか。	地区別の人口推計では、人口が少ない地区や年代において、変化の幅が大きくなりすぎる部分があり、全体推計との整合性がとれない部分が生じることからエリアごとにお示しするのは控えました。	

総合計画審議会 意見一覧

No	項目	P	委員	意見内容	市の考え・対応案	答申への記載
47	総合戦略 1.戦略の体系	3	森田 委員	私は商業の立場なので、基本目標の1番に「変化し続ける温泉観光地を目指す」を入れていただいていることは大変ありがたいが、これだけ少子高齢化、人口減少が進んでいる中、やはり市役所の仕事は住民福祉の向上が第一なので安心して人が住めて、そして子育てができる環境を作っていただくことが当然1番だと思うので、この目標を順番変えていただいて一向に構わない。つまり4とか5が最初に来てもいいと思う。	委員意見のとおり修正し、答申案としたいと考えます。	○
48	総合戦略 1.戦略の体系	3	佐野 委員	人はよりよい環境求めて出ていき、よりよい環境を求めて入ってくる。ここのバランスが悪いと出ていく人が多くなる。熱海も住むにはいいところだと思うが、何の環境が悪くて出ていくのか、戻ってこないのかという基本に戻ったほうがよい。	委員意見のとおり、基本目標を下記のとおり修正し、答申案としたいと考えます。 「基本目標5 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」 ↓ 「基本目標1 選ばれる地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」	○
49	総合戦略 基本目標4(3)産み育てやすい子育て環境の充実	11	小泉 会長	若者の流出は全国的な傾向。出るのはいいが、出た人が地元に戻ってくるか、これが市町村によって一定の差がある。もっと差が出るのは、戻ってきた後の結婚や子育ての段階。働く場、住まい、子育て環境によって差が出る。そういう環境を考えるという点でいくと基本目標4はまさに若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえるということであり、基本目標5はそういった地域を、暮らしを成り立つようにすることかなと思う。	委員意見のとおり、住まいに関する具体的事業を追加し、答申案としたいと考えます。 (3)産み育てやすい子育て環境の充実 【具体的事業等】・多様な住まい方ができるまちの実現に向けた、ニーズや時代に合わせた住宅の更新や住宅ストックの活用促進【再掲】 【関連：後期基本計画 3(2)住環境の整備「主な事業」②より】	○